

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 7 月 12 日 (2012.7.12)

【公表番号】特表 2009-516051 (P2009-516051A)

【公表日】平成 21 年 4 月 16 日 (2009.4.16)

【年通号数】公開・登録公報 2009-015

【出願番号】特願 2008-541162 (P2008-541162)

【国際特許分類】

C 1 0 G 25/03 (2006.01)

C 1 0 G 61/06 (2006.01)

C 1 0 G 25/05 (2006.01)

【 F I 】

C 1 0 G 25/03

C 1 0 G 61/06

C 1 0 G 25/05

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 24 年 5 月 17 日 (2012.5.17)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 3 5 】

ある実施態様では、炭化水素原料油は、酸素含有化合物、および / または窒素化合物を所望のレベルまで除去するために、シリカ、アルミナ、シリカ - アルミナ、高表面積カーボン (例えば、表面積が $100 \text{ m}^2 / \text{g}$ 以上、好ましくは $200 \text{ m}^2 / \text{g}$ 以上、より好ましくは $400 \text{ m}^2 / \text{g}$ 以上)、モレキュラーシーブ、ゼオライト、あるいはクレイなどの前処理触媒で前処理される。酸素含有化合物と、塩基性の窒素化合物の選択的除去は、通常室温付近の温度、圧力約 136 から約 1480 kPa - a、WHSV 約 0.1 から約 5 hr⁻¹ において行われる。